

教育目標 ぶるさとを愛し、夢に向かって頑張る子どもの育成へえがおいっぱい げんきいっぱい いのちいっぱい 東っ子

# 東小だより



文責 校長 田崎正明

如月号

## 二月は去る、三月は…

気づけば二月も終盤です。毎年のごとですが、三学期の時の流れは、どの学期よりもはやく感じられます。学校ではもう卒業の足音が聞こえています。どの学年も 六年生のために」という機運が学校生活に感じられます。六年生が東っ子としての誇りをより一層高められるように、そして、その姿に、他の学年の子供たちの憧れをもてるように、学校一丸となって「東っ子卒業プロジェクト」を展開していくことを考えます。コロナ禍にあっても、元気で、心豊かな子供たちが集う学び舎であるために、残りの三月も、必要なこと、大切なこと、善いこと、可能性があることに知恵を出し合って取り組んでいきたいと考えます。皆様方のご理解とご協力をお願い致します。なお、卒業式は三月二十四日(木)に挙式することを申し添えます。

## 東小ギャラリー



◆春の訪れが感じられます。校門横には桜のつぼみが現れました。学校園では、5年生が栽培したバスケットボールより大きい桜島大根の収穫が行われました。



◆各学級で郡市小体連主催の長縄チャレンジで記録更新にむけて一致団結して取り組んでいます。

◆授業では3密を避けながらの学習活動です。ペア学習やグループ学習も距離をとって行うため、難しさがあります。

## 東っ子の感性にびっくり

昼の校内放送で、学習成果 言葉を通じて心が動いたことを発表してくれています。自分が出会って心に響いた詩や、授業を通して創作した短文など、スピーカーを通して伝わる子供たちの感性の豊かさ、表現力の高さに驚いています。今回は二年生の作品を紹介します。

◆創作詩「ほいくえんの豆まき」  
赤おにと青おにがこわかった  
ないたつかまった

はじっこにかたまった(濱川 結)

◆創作詩「ジェットコースター」  
あのジェットコースターのりたいなあ  
やめとこうかなやってみよう楽しそう  
やってみた… やらないほうがよかった(金棒 心晴)



## 助成金をいただきました

日本教育公務員弘済会から、スクールライブラリー助成金「10万円」をいただきました。学習活動と読書活動の充実のために活用し、子供たちの健全育成に努めてまいります。御厚意に心より感謝いたします。

## 華やぐ玄関に

職員玄関に生け花が飾られています。とても見事で、華やぐ場になっていきます。地域の山下様の厚意で、定期的に行うくださっているものです。生け花の美しさもありがたいことです。山下様の心遣いに心より感謝いたします。



## あとがき

「その一言で」で始まる詩があります。どこかで目にしてメモしたのですが、言葉の持つ力の大きさを表してあります。多々、言葉は相手に向けられるものです。言葉で喜怒哀楽を伝え、受け手も喜怒哀楽します。また言葉は心を表すものでもあり、逆に心を隠すことができるものでもあります。言葉を介して関係を作る私たちにとって相手の立場や気持ちを推し量るといった高い相手意識をもつことが大切だと考えます。「言葉を選べ」とよく言いますが、選ぶ前に相手の立場や心情を察して、思いを巡らせ、相手にとってふさわしく、そして相手が欲する言葉の使い手になりたいものです。本校では今月、人権週間を設けました。人権を大切にされた行動は、言葉遣いにあらわれると子供たちに伝えました。

「その一言」

その一言で励まされ

その一言で夢を持ち

その一言で腹が立ち

その一言でがっかりし

その一言で泣かされる

ほんのわずかな一言が

不思議な大きな力持つ

ほんの一才の一言で

くまもと家庭教育十か条 第九条 (地域全体での子育て) この子もあの子も 地域で子育て みんなの宝

# 東っ子に伝えること

## 「学校生活で意識すること」 かしこさ

ちえ りこう こころ ゆた  
**知恵があり、利口で、心が豊かなこと**

頭がいいことや100点をとることじゃない

自分では見えない  
見つけられないもの



かしこく  
なったね

すごいね!



わかるように  
なろう

できないうちの  
びるチャンス

自信をもとう

できるように  
なろう

ぜったい  
できる

一步一步  
進もう

くり返して  
みよう

「がんばる」ことは、とてもたいせつ  
そのために!

めあてを  
はっきりもつ

自分の力で  
やってみる

仲間をふやす  
協力する

## 「心のつなひき」

私の中の「弱さ」と「強さ」  
だれにでもあるもの わたしだけじゃない

弱さ

きらいなものはいやだ  
好きなものがある

気持ち悪いのはいやだ  
気持ち良いものがある

損(とん)はしたくない  
得(とく)をしたい

命は大切  
あぶない  
助けなければ

強さ



だれだって「正しく生きよう  
明るく生活しよう」と思っている

いつでも、どこでも、だれにでも  
「美しく正しい心を持ちたい」とわがっている

でも  
「弱さ」と「強さ」の  
二つをもっているから

その  
思いやわがいに  
いかない

どうしたらいいんだろう

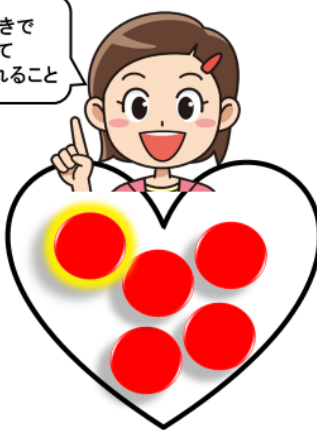
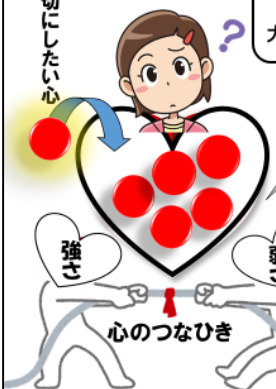
「しなければならぬのにできない」  
「してはいけないのにしてしまう」

強さとは反対の弱さが出てしまう わたしがいる

大切にしたい心

大切なのは心のつなひきで  
自分の「弱さ」に勝って  
大切にしたい心を手に入れること

大切にしたい心が  
わたしの中に入ったよ!



## 「東っ子の良さ」校内放送で

給食の時間の放送やサクランボメールで、友達やたくさんの先生から、よいところをほめられ、また感謝の言葉を贈られた東っ子のみなさんでした。先生たちが伝えたみなさんの行動は、「自分から進んで行ったこと」「いやでも頑張ったこと」「自分のために行ったこと」「友達のために行ったこと」など理由はいろいろあると思いますが、どれも気づき・考え・行動したことだったといえるでしょう。ところで、先週の放送で三嶋先生がおっしゃった「東っ子の挨拶は日本一、それができるようになった皆さんは日本一の小学生」ということがありました。とてもうれしい言葉でした。私をはじめ先生方も三嶋先生と同じ気持ちになっていましたよ。うれしくなれたのは、誰もが「その通り」と感じたからだだと思います。では、その「日本一」とはどのようなことでしょうか。私は思うんです。日本一とは「人と違ったことをする」「誰よりも優れている」ということではなく、「同じことをしているんだけど、それを見た人、聞いた人が心から感動し、うれしくなること」だと考えています。すると、みなさんは、たくさんの友達や先生方の心を温かくし、うれしい気持ちでいっぱいになることができた。そんな人に成長しているということになります。では、どうして、みんなは「日本一」になれたのでしょうか。多分自分ではわからないでしょう。でも、この答えを私は知っています。みんなが日本一になれたのは、先生とみなさんと、同じ目標におかっけて一緒に生活してきたからです。「気持ちの良いあいさつをしよう」「友達を大切にしよう」「思いやりの心を育てよう」「運動会を成功させよう」「学習発表会で堂々と発表しよう」「マラソン大会で弱い自分に打ち勝とう」「規則正しい生活をしよう」「夏の暑さに負けない、冬の寒さに負けないからだを作ろう」「命を大切にしよう」「すすんで生活しよう」といった目標を先生とみんなと一緒に理解して力いっぱい取り組んできたからです。私は、みんなに良いと思ったこと、そして、その理由を伝えてきました。みなさんに伝えてきた事は先生方にも伝えてあります。また、先生方に伝えたことはみなさんにも伝えてあります。東小では、先生方と東っ子で、一緒によりよい自分を作ってきました。その作戦が「笑顔大作戦」です。2月になり、「笑顔大作戦」も終わりに近づいてきました。3学期が終わるまで残り少なくなりました。今、みなさんの大きな成長を全員で確認できたことは、とてもうれしいことです。最後に、紹介をします。東っ子忍者にまた、仲間が加わりまし。「頑張るんじゃ」と「凄いんじゃ」です。3年生がアイデアを出してくれました。二人の忍者には、気づき・考え・行動して、思いやりの心を大きくした東っ子が、もっともっと頑張ろう、新しい自分を見つけようとする、そして、その気持ちや努力ができる子供になろうという思いが込められています。学校いっばいに6人の忍者が登場するようになると思います。学校では、今言葉のプレゼント作戦が行われています。掲示板にいっばいのみんなの良いところが並ぶことを待っています。全員で、東っ子の美しい心の花を咲かせましょう。

## 「心のつなひきしてみよう」

この詩を読んで、これから言葉の使い方大切にしたい心を入れましょう。

ほくには、勇気がない。  
友だちが泣いているのに、  
ほくには、助けに行く勇気  
がないんだ。  
ほくまで、いじめられる  
かもしれない。  
強い人には、何も言えな  
いんだ。  
泣いていた子は、  
どんな気持ちで、  
ほくを見たらろう。  
知らんぷりした  
ほくの心は、  
苦しくて、苦しくて、  
ドクドク、ドクドク、  
音を立てる。  
だんだん、だんだん、はやくなる。  
どうして勇気がないんだらう。  
ほくは、ほくに、腹が立つ。  
こんな弱いほくにさよならしたい。  
ほくは、強くなりた。

